

# 平成30年度 教職大学院の教員に関する実態調査

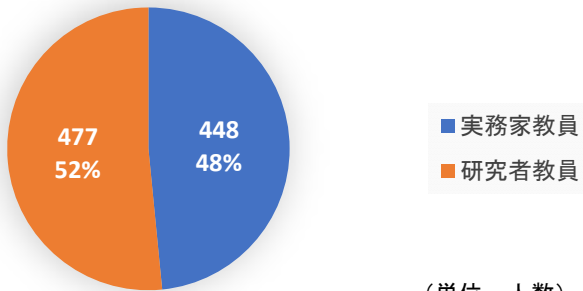
## 資料5

教員養成のフラッグシップ大学検討  
ワーキンググループ（第3回）  
R1.7.4

### (1) 専任教員数

#### ① 共通

##### (ア) 区分



(単位：人数)

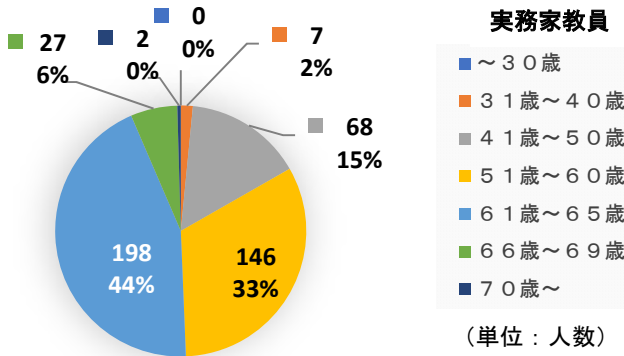
※実務家教員については、みなし実務家教員を含む

#### (参考) 実務家教員について

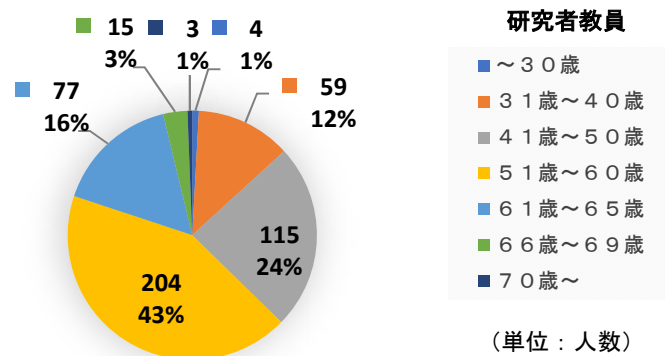
◇教員等の学校教育関係者の場合  
実務家として学生に対し適切な指導を行い得る、一定の幅の広さを持つ経験を有する者である必要があるため、例えば教諭の場合、標準的な勤務経験を考えれば、**概ね20年程度の経験が必要**。

※出典：今後の教員養成・免許制度の在り方について  
(平成18年7月11日 中央教育審議会答申)  
参考資料より

##### (イ) 年齢

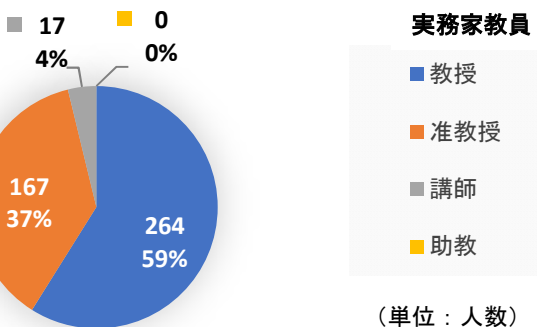


(単位：人数)

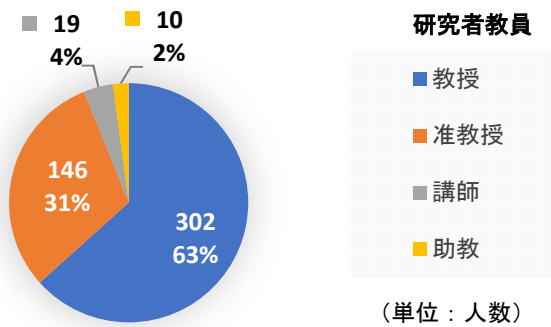


(単位：人数)

##### (ウ) 職位

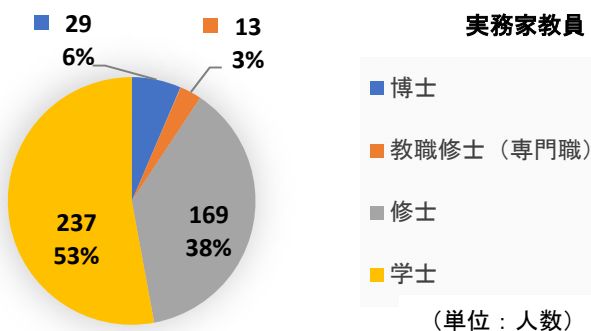


(単位：人数)

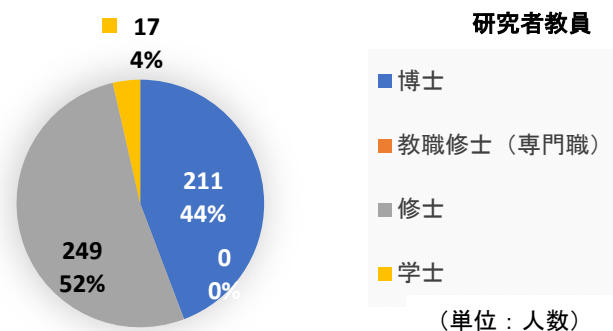


(単位：人数)

##### (エ) 学位の保有状況



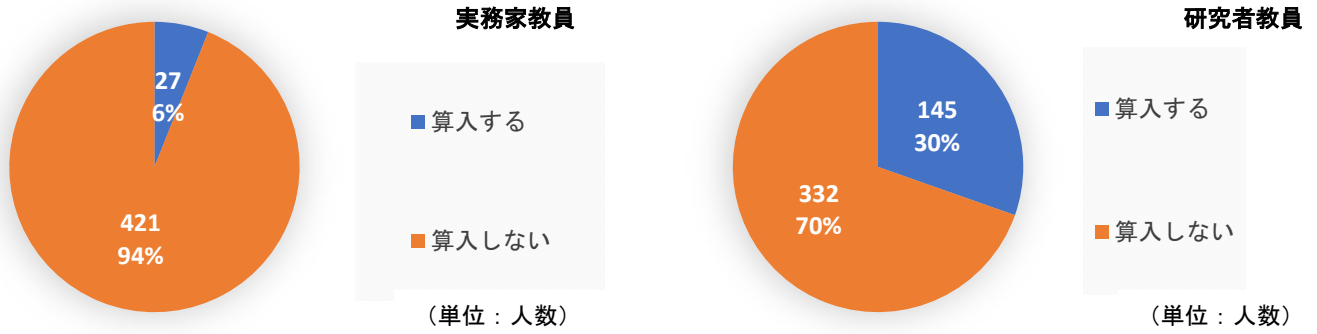
(単位：人数)



(単位：人数)

## 平成30年度 教職大学院の教員に関する実態調査

### (オ) ダブルカウントの算入・不算入



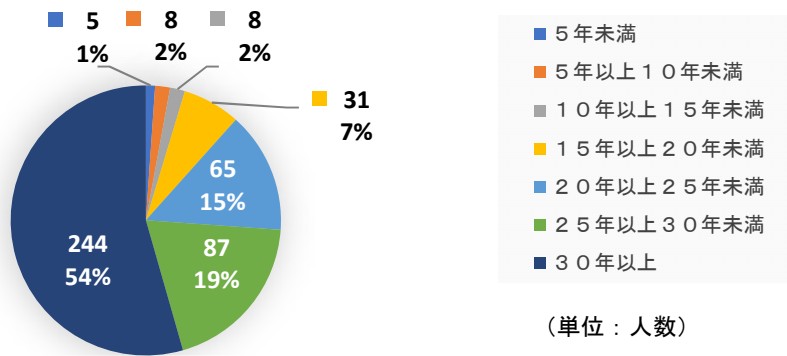
### ②実務家教員（みなし実務家教員を含む）のみ

#### (カ) 類型



※その他教員の内訳：文部科学省との交流人事（1名）、民間企業実務家（1名）

#### (キ) 実務経験年数



#### (ケ) 実務を離れてからの年数

